

# 町内探検隊

町内会長の石塚さんにまちを紹介してもらいます。

## ◆大池公園

キレイに整備され、みなさんの憩いの場となっています。私も毎朝5時半ごろに散歩していますが、とても気持ちがいいです。毎日午前6時半には、ラジオ体操をするために多くの人が集まります。ここでは、年に2



回ほど豚汁などを振る舞うイベントも開催しています。

## ◆大盛況な夏祭り

7月に、北明治連合町内会で夏祭りを開催。もともとは、盆踊りをしていたのですが、もっと人が集まるものと考え、夏祭りに変更しました。当日は、2500人以上が来場。太鼓・阿波踊り・安城中部小学校のマーチング、町内会・子ども会・商店街振興会などによるパルーンアートや風船つり・ボールすくいなどで、大いに盛り上がりました。1日だけの開催でしたので、まちの人からは「2日間やってほしい」という声もあったほどです。

## ◆いざという時に備えて

11月には防災訓練を実施します。一人暮らしの高齢者を中心に身元確認をし、ゼヒリストを作りたい

## 今月の舞台

だいとうちょう  
大東町



です。さらに、安城北中学校の生徒20人と町内の人とで実施する炊き出し訓練。また、東日本大震災で災害派遣された消防署員の講話を予定しています。いざという時のために、地域の人とコミュニケーションをとっておくことは大切ですね。きっと災害時に役立つと思います。地域の人同士が、互いに助け合えるよう、日ごろから連携を深めるために、この防災訓練を良いきっかけにしていきたいです。



# わたしの望遠郷

とやま やつおまち  
富山市(旧八尾町)



私が15歳まで暮らした八尾町は、冬には雪がたくさん降る、自然が豊かなまちです。毎年9月1～3日に「越中八尾おわら風の盆」が開催されます。町内のそれぞれのまちでデザインした着物に身を包み、笠をつけて踊ります。山間に響く、胡弓の音色が心をふるわせ、涙が出たことを覚えています。

以前、私の話を聞いた義父が出掛け、あまりの感動に歌を詠んだこともあるほどです。安城



石川さん

の梨農家に嫁いできて半世紀。まつりの時期は収穫が最盛期で、一度も観にいくことができません。でも、心の中にずっと残っている、子どもの頃の思い出です。

富山は食べ物がとてもおいしいです。山の幸、海の幸共に恵まれています。春は山菜・ワラビ・姫タケノコ。山菜は干して年間通じての非常食に大活躍。雪国の食卓を豊かにしてくれています。秋はきのこや栗。また、ふくらぎ(プリの子ども)が絶品。11月にはカニも食卓を彩ります。そして、なんととってもお米のおいしさ。

冷めてもおいしいですよ。さらに富山のもち米からついた、餅もおすすめ。伸びがよく、いくつでも食べられるため、いつも食べ過ぎてしまいます。皆さんもよかったら、一度訪れてみてください。

石川洋子さん(小川町)



越中八尾おわら風の盆 提供:富山市

# 元気っ子アルバム

るい  
神谷琉生くん(1歳)



僕、琉生♪髪の毛がくるくるなのがトレードマーク!愛想がいいねってよくいわれるんだあ♡みんなと仲良くなりたいな☆  
お父さん:敏也さん  
お母さん:恭子さん(藤井町)

まさと  
杉浦匡飛くん(5歳)  
ごうき  
巨紀くん(7カ月)



弟のお世話をするのが好きな匡飛です。お兄ちゃんが大好きな巨紀です。  
早く一緒に走り回りたいなあ。  
お父さん:広隆さん  
お母さん:敦子さん(小堤町)

星野悠衣ちゃん(1歳)



私の名前は星野悠衣です。女の子よ♡今日も元気いっぱい!たくさん食べて楽しく遊ぶよ☆みんな仲良くしてね!  
お父さん:雅樹さん  
お母さん:美和さん(横山町)

「わたしの望遠郷」、「ほっとタイ夢」、「元気っ子アルバム」コーナーでは、市民の皆さんからの投稿をお待ちしています。詳しくは、電話で秘書課広報聴係(☎71)2202)へ。掲載者には記念品を差し上げます。  
わたしの望遠郷→以前に住んでいたふるさとの思い出を紹介 ほっとタイ夢→夢や、ほっとする話を紹介

# ほっとタイ夢

被災地から避難し出産、皆さんありがとう  
大沼さん一家(古井町)

## ◆安城へ来た経緯は

以前は、福島県双葉町に住んでいました。原発事故をうけて避難命令が出た時、妻は妊娠7カ月。双葉町で出産予定でしたが、子どものことを考え、引越すことに決めました。

## ◆たくさんの人の援助を受けて

3月末に引越した当日、民生委員の人などが「鍋は返さなくていいから、そのまま使って」と、味噌汁とおにぎりを差し入れてくれました。その時の温か



い味は忘れられません。出産時に備えて、行きつけの八百屋さんでタクシーの番号を聞くと、「その時は私に言って。送っていくから」との心強い言葉。陣痛が始まった時には、民生委員さんが様子を見に来てくれて、「もう病院へ行かない」と、助言されました。病院へ着くと、「すぐに分娩です」と言われ、無事出産することができました。

出産後、私たちのことが新聞に載りました。すると、見ず知らずの人からも、お祝いの品がたくさん届きました。私たちの新聞記事で作った鉛筆立てや命名色紙、絵本や

ベビー用品。冷蔵庫は3階の自宅まで運んでいただきました。どれも大切にに使わせていただいています。人の優しさを心から感じ、感謝しています。

「本当にたくさんの励ましありがとうございます」



すくすく成長する勇誠くん